

ミラノ日本人学校 教諭 三宅 孝明
倉敷市立葦高小学校所属（平成21年度派遣）

ミラノ日本人学校は、創設1976年で30年以上の歴史を持つ日本人学校です。現在在籍児童62人（小学部52人，中学部10人。）で，小中併設の小規模校です。ミラノ市はイタリア北部，ちょうどブーツの上辺りのロンバルディア州に位置し，北部をアルプスに囲まれています。学校校舎はミラノ市内北西部にあります。比較的静かな住宅地域にあり，子どもたちの大部分は学校周辺に住んでおり，徒歩やバス，自家用車による送迎で通学しています。



敷地は日本の一般的な学校に比べると非常に小さく，中庭と呼ばれる20m四方程度の狭い運動場で，小学部，中学部の児童生徒が一緒になって楽しく遊ぶ様子が見られます。教育課程は日本の学習指導要領に準じて行われています。また，イタリア語の授業も行われており，現地職員の指導のもと，子どもたちはイタリア語に親しんでいます。

さて，海外日本人学校の特色として，現地校との交歓会があります。年2回，双方を行き来して互いの国の文化交流を主に楽しいひと時を過ごします。一昨年，2年生を担当し，1年生と合同で交歓会を行いました。

そのときに，現地の先生にイタリアの教育事情についてインタビューする機会があったので，以下，紹介します。

○現地教員

Scuola Elementare Di Via Ugo Pisa 教諭 BARBARA（40代）

○日時と場所

1回目：平成22年1月28日 10:00～12:00 Scuola Elementare Di Via Ugo Pisaにて



【教育課程】

- ・学年始まりは9月，終わりは6月中旬～7月上旬。（9／14～6／12）
- ・休業日はイタリアの祝日と，日本で言うお盆（10／30，11／2），カーニバル（3日間），あとは夏休み（6／13～9／13）と冬休み（12／23～1／7）である。
- ・合計授業日数は年間204日
- ・1コマの時間は学校の中で規定はない。8：30～16：30の間の時間を担任裁量で実施されている。
- ・10時過ぎからメレンダとよばれるおやつがある。簡単なお菓子を少しだけ。（イ

タリアの一般的な朝食は、カプチーノとクロワッサンで軽く済ませるため、途中でおなかがすく。それを補うためである。)

- ・ 昼食は12時半ごろから1時半ごろまで、2学年ぐらいの交代制で実施される。学校から給食がでる。
- ・ メレンダと給食のメニューは、HPなどで公開されている。
- ・ 休憩時間は昼食後にある。掃除の時間はなく、業者が行う。

【教科内容】

- ・ 国語、算数、理科、音楽、体育、お話、イメージを広げて絵にかく、地理、英語。
- ・ 1～5年までは同じ。その後は、技術などが入ってくる。
- ・ 教科内容はイタリア政府が規定している。
- ・ 英語はずいぶん前から行われているが、話せるようになっているとはいいがたい。内容は簡単な挨拶とか数字とかである。

【行事】

- ・ 入学式、卒業式などはない。始業式、終業式もない。
- ・ 幼稚園から小学校に上がってきたときに、一緒に遊ぶような会はある。(1年生を迎える会のようなもの)
- ・ 林間学校はある。これはミラノ市が主催しているもので、参加は担任裁量である。
- ・ 避難訓練は年間3～4回ある。今年は11月と5月だそうである。
- ・ 健康診断は昔はあったが、今はない。理由はお金が高いからである。日本は税金でまかなわれるが、
「税金は官僚の懐に入っているのです、こちらにはほんの少ししか予算が付かない。」
と、冗談交じりで言われた。

【資料】

・ イタリアの筆箱



・ 交流会の様子



・ 事務室前の飾り



・ 給食の様子



・ クリスマスの飾り

